

先人の座右の銘

上手に逃げる

木下 清

(コロナから?!)

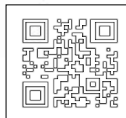
十人十色

十仁・ベルジュバンス、ヘアダイ、ストレートのヘア&フェイスサロン

美容室ベル

TEL 077-524-0674

〒520-0056 大津市末広町 8 - 13
http://www.bell-o2.com



2021/12/3発行 28号

行ってきました

国指定史跡 草津宿本陣へ

久しぶりに降りた草津駅はあまりにも変わっていて、ちよつと残念です。旧街道は、ビルが建ち、昔のお面影はなく、でも本陣は立派な門構えで、江戸時代の姿のままに、そこに在りました。

表門をくぐると左手に番書が置かれ、中央に台付きの玄関を入ると畳み敷の廊下があり、一番奥に主客の休泊する部屋があり、なんと畳みが2枚重ねて敷かれ、まるで「ベッド」のようです。これは縁の下からの刺客を防ぐためとのことです。また、主客専用の湯殿や雪隠「便所」があり、なんと先人の知恵に脱帽です。

江戸時代、参勤交代の大名や公家といった高貴な人物が宿泊に利用された、特別な施設で、今で言う「高級ホテル」なのでしょう、広い、部屋数は40室あったとあります。値段が気になりますね？時代によりますが今の価値でいうと20〜30万円だそつです。

利用した人々のなかに西洋医学を伝えたオランダの医師シーボルトら外国人、将軍に献上する新茶を入れた茶壺など人以外の物も泊まったそつです。

コロナのせいかな？貸し切りです。台所土間も広く「おくどさん」が5台あり、大きな水瓶があり、井戸も備えてあります。多くの人たちが、たち働く姿が見え一気に江戸時代にタイムスリップした想いです。

皆さんも是非、足を運んで見て下さい。



川中さんちの簡単おかず

～モヤシとカイワレのおかかじょうゆ～

材料
モヤシ、カイワレ、かつお節。

作り方
・カイワレ大根は根を切り、鍋に湯を沸かし、モヤシとカイワレ大根をさつとゆでてザルにあげ、粗熱が取れたら水気をしぼる
・ポウルにモヤシ、カイワレ大根、かつお節としょうゆ、だし汁を加えてまぜて器に盛り付ける。

調味量は皆さんの好みで。。

草津宿街道交流館へ

草津の歴史や文化を紹介する資料館で2階は無料で見ることが出来ます。2階の展示室では常設展示の他にテーマ展が開かれています。今回は近世から近代にかけて旅を題材にした絵画や浮世絵を紹介した「描かれた旅事情」絵画から見る旅と観光」が開かれています。

平日なのでひっそりとしている。会場には北斎や広重の作品が並び、徒歩の旅人が往来した宿場町や鉄道路線、汽船の航路など各時代の交通手段が描かれた絵図を見ていると、旅に出たくなります。遠くへ早く飛行機で世界一周？イヤ、船で世界一周？？コロナを忘れて楽しい一時でした。鈴木カヨコ

【デジモノ講座】 28. オンライン帰省 4 ～父の実力？～

その後、2週間に1回くらいの頻度で母とラインビデオ通話するようになった。今だに電話片手に操作を案内しながらでないビデオ通話を開始できないが、最初の頃よりスムーズになった。こちらが「ライン出来るか？」と聞くと「リモートか？出来るよ」と答える母。リモートとか言って妙に慣れてきてるな、と思う。

ところで父は相変わらず母の隣で見ているだけで、自分でiPadに触れる事は無いようだった。最初に渡したiPadやLINEの教本も読まずに本棚にしまってある。ある時母が「お父さんに繋いでみてもらおう、できるんかしら？」と言ったので、父とビデオ通話開始の手順をやってみる事になった。

これが案外スムーズに繋がる事に成功した。最初に触ってもらった時に爪が長すぎてタッチ出来なかった経緯があったので、iPad画面を開く為にパスコードを入力する想定をしていたのだが、意外にも指紋認証が成功し一発で画面が開いたのだ。その後も順調に進み、ほどなくしてこちらのiPadに父の顔が映った。毎回、母が四苦八苦と操作してる隣で、じっくり観察していたからだろうか。これまでの汚名返上といったところか上手い具合にいったので、画面の向こうの父はまんざらでもない様子に見えた。父はビデオ通話が繋がってしまうと「俺は映らんでもいい」と母にiPadを譲った。映っている母の隣に座ってはいるが、微妙に映らない場所まで離れていて、会話はもっぱら母とする事になる。体調やその他色々、最近はどうか？というような話を30分ほどする。

最近ビデオ通話の良いところを発見しつつある。

実家で面と向かっていると、居間のテレビの音が大きすぎたり、母がこれ食べろ、あれ食べろとしきりにそんな事ばかりで気忙しく動き回って、落ち着いて話もできない。ウチだけなのか、どこお宅も同じようなものなのか。とにかく実家に人が集まるとわちゃわちゃし過ぎて、話をするには落ち着かないのだ。

それがビデオ通話だと画面に集中するしかないの、落ち着いて話しができるのが良いところだ。

しばらく話して、終わる時にはお互いに画面に向かって手を振って「またね」となるが、画面の外にいたハズの父が遠巻きにいつの間にか画面に入り込んでいて同じように手を振っている。そんなキャラだったっけか？父も妙にリモート慣れしてきたな、と感じる今日この頃だ。

編集後記
琵琶湖博物館へ行きたいと思ってアクセスを調べていると、なんと博物館は予約制だと言つ。ホームページから申し込めるとの事、コロナのため、密を避けるためとはいえず、アナログ人間はどつすればいい？スマホはいや、キャッシュレスはいやと言つていて、コロナが収まり世の中は様変わりして、アナログ人間は生き